

学習内容報告書 フォーマット

学校名	笠岡市立神島外中学校
授業者	全教員

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

地域学

1-2. 学年

1年・2年・3年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

総合的な学習の時間「地域学」

まず、自分たちの住んでいる地域の島、神島、高島、白石島、北木島、六島から自分の調べたい島を決める。歴史・文化・産業・自然環境等について学習を深める中から、班で探究テーマを設定する。探究テーマの課題解決のために、公民館や地域住民へのインタビュー、現地調査等を行う。収集した情報をもとに、プレゼンテーションを作成する。保護者や地域の方への発表会を行う。活動を振り返り、自分たちは地域のために何ができるのか、どのように向き合っていくのかを考え、地域を見つめ直す。

さらに、振り返りを通して、自分が地域のためにできること（海岸清掃、地域の清掃活動等ボランティア活動）を決めて活動する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

笠岡市は、小中学校において、総合的な学習の時間や社会科などの学習を通して、自分たちの住む地域や笠岡市の自然、歴史や風土、人物などを知り、子供たちの郷土を愛する心や誇りを育てている。さらに笠岡市では郷土学習を明確に位置づけ、「地域学」として義務教育9年間を通して系統的・継続的な学習活動を進め、郷土愛の育成を図っている。本校では、3年前から総合的な学習の時間に「地域探究」を行っており、本年度から「地域学」として行っている。

笠岡諸島では、西日本豪雨災害後、大量の漂着物が打ち上げられ、島民の生活や自然環境に甚大な被害をもたらした。これを機に、本校では、以前から行っていたカブトガニ保護活動に加え、学区の島についての学び、地域や島民の方々の生活を守り豊かな自然環境を保全することを主たる目的として、海岸清掃等のボランティア活動を開始した。

地域学を通して、自分の住む地域や笠岡諸島の歴史・文化・産業・自然環境、さらに人口・環境・エネルギー問題等についても主体的に学ぶ活動を行い、生徒の郷土を愛する心や誇り、美しい海や島を保全するための行動力を育てていくことができると考え、本単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・探究的な学習の過程において、問題解決に必要な知識・技能
- ・課題を見つけ、情報を集め、整理・分析してまとめ、表現する思考力
- ・探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとする態度

1-7. 単元の展開（全 20 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
3	○課題設定 笠岡諸島の島から自分の調べたい島を決める。班で課題を設定する。	<教師の指導> 各班ごとに、生徒が主体的に学習に取り組めるよう支援をし、課題を設定させる。
9	○他者と協働して課題解決 班で、インタビュー、現地調査等、課題追究に必要な方法を選択する。人・ものから課題に必要な情報を収集する。	<教師の指導> 丁寧なインタビューの仕方について指導する。 <外部連携> 神島公民館 神島外公民館 白石公民館 地域の方
5	○活動のまとめ 収集した情報を整理・分析し、班内で対話をし、プレゼンテーションを作成する。	<教師の指導> ・収集した情報をもとに課題解決に向けた対話をさせる。 ・対話をした内容をもとに、プレゼンテーション作成テーマを「自分たちがみんなに伝えたいもの（こと）」とする。 <資料>六島ぶら〜り散策マップ等
2	○地域学発表会 地域の方を招いて発表会をする。	<教師の指導> ・相手意識（目線、声の大きさ、スライドの提示の仕方）を持ち、わかりやすく発表するように努めさせる。 <外部連携> 公民館の方 地域の方 保護者 小学校教職員
1	○振り返り 活動を振り返り自分たちは地域のために何ができるのか、どのように向き合っていくのかを考える。	<評価>自分ができることを具体的に考えているか。

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

2-2. 本時の目標

- ・探究するテーマを設定することができる。
- ・探究学習の見通しを持つことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>○学習の流れを確認する。</p> <p><input type="text" value="笠岡諸島で自分の調べたい島を決める。探究活動を通して、自分の地域を見つめ直す、自分にできることを考える。"/></p> <p>○自分の調べたい島を決める。 神島、高島、白石島、北木島、六島</p> <p>○5 班に分かれる。</p> <p>○どんなことを調べたいか決める。 ・調べる島から連想できることを出し合う。 ・なぜ調べたいと思ったのか。 ・自分たちの課題 (テーマ) を決める</p> <p>○どうやって情報を集めるか決める。 ・企画政策課、農政水産課 ・島の方へインタビュー ・公民館、市役所 ・現地調査 ・インターネット ・書籍</p> <p>○各班の「発表の題名」を決める 「六島シックスミステリー」「神島 History」 「白石島魅力発見!!」「北木島へ～Let's GO」 「高島 Then and now」</p>	<p>・本単元の学習の目的と流れを説明し、学習活動に見通しを持たせる。</p> <p>・どの島を調べるか、五つの島のイメージを持たせる。</p> <p>・探究学習を深めるためには、なぜ調べたいのかを明確にもたせることが必要である。そのために自分で、そして班で考える時間を十分に設定する。</p> <p>・ワークシートを用いて、探究学習の進め方を整理させる。</p> <p><評価の視点> ・課題を設定し、具体的な探究の仕方を決め、見通しを持つことができたか。</p>

3. 今回の活動の自己評価

- ・生徒は、地域の方へのインタビューを通して、地域の新たな魅力を発見することができ、学習が深められた。
- ・班内での対話を取り入れたことで、班内での協力やアイデア・意見を出し合う姿が以前より多くなった。
- ・地域学発表会に向けてのプレゼンテーション作成を通して、ICT機器活用能力や相手意識を持った発表をする力を育成することができた。保護者や地域の方々にわかりやすい発信ができた。

4. 今後の課題

- ・生徒は意欲的に学び、学習意欲の向上につながっただけでなく、今まで以上に地域の島を身近に感じ、自分たちが地域のためにできる活動を行いたいと思っている。しかし、コロナ禍であり予定している地域貢献活動の実施は難しい。そこで、生徒に、コロナ禍でもできる活動を考案させることが必要である。
- ・今回の学習を通して、疑問点やさらに追究する点についてしぼり、さらに学習を深めていく。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし